



### 炎暑の夏 平和の祭典はじまる

今年も暑い夏を迎えています。この炎天下で東京オリンピック・パラリンピックが開催されています。ここを目標にしてきた選手には申し訳ないのですが、これほど歓迎されないオリンピックは初めてでしょう。コロナの新規感染者が増え続ける中での、国際イベントの開催は、国民の命と健康を危険にさらす行為であることは間違いありません。夏の終わりには東京都の1日の感染者が2400人と、いう専門家の指摘もあります。「人類がコロナに打ち勝った証」には当然ならないでしょう。医療機関を含めてエッセンシャルワーカーと言われる人々の戦いは続いています。祝祭ムードなど欠片もないのが首都東京です。それでも実施するのは何故なのか。おそらくオリンピックで動く巨大なマネーが背景にあるのでしよう。

オリンピックに出場するロシアの選手は国旗・国歌が使えません。その国歌が変わりチャイコフスキーの協奏曲が流れるそうです。国歌は勇ましい曲が多いのですが、チャイコフスキーの曲は、金メダルリストを表彰するにふさわしい曲だと思えます。このニュースを聞いて、国の代表ではなく、個人参加のオリンピックという妄想がよぎりました。国籍がどうであれ、選手の活躍に一喜一憂するのがスポーツの祭典です。素晴らしい活躍や記録は国を超えて賛辞が送られます。国際政治の舞台は「価値観を共有する」という国同士の争いが激化しています。国とは人にとってどんな意味があるのでしよう。国という鎖から解き放たれて、個人として純粹に表彰されるオリンピックも良いものだと思います。

日があり、「8月6日」「8月9日」と広島、長崎の平和式典が続きます。核兵器の廃絶にもなりました。しかし、日本はアメリカの核の傘の下で、「批准せず」を公言しています。とても残念なことですが、アメリカのレーガン大統領とソ連共産党のゴルバチョフ書記長がレイキャビックで、核兵器の廃絶を話し合ってから36年の歳月が流れたことを新聞記事で知りました。この間に核保有国も増え、国際政治は複雑化し廃絶への道は容易ではないでしょう。しかし、巨大な経済圏が作られ、企業は国を超え始めています。市民活動も国境を越えた存在にありつつあります。国と国がぶつかる社会に転機が訪れるのか。不要不急の外出を控え、熱中症に注意しながら、オリンピック観戦と併せて、平和という問題も深く考えたいと思っています。

理事長 坂林哲雄

## 高齢協って何? 岡山高齢協の取組み

### 子育て支援は、高齢者の役割!

### 22回を迎える高齢者主張大会

#### 岡山県高齢者福祉生活協同組合

#### 専務理事 國府島敏史さん

岡山高齢協は、岡山市内にヘルパーステーション2か所、居宅介護支援事業所が1か所、倉敷市内に、ヘルパーステーション1か所、地域密着型デイサービス1か所、子育て広場2か所の拠点を設けています。これら以外に、組合員の方が集う常設のたまり場(生きがいサロンホッと)を本部の近くに設置しています。

組合員数は834名で、連合会加盟単協の中では広島に次に数が少なく、組合員拡大が課題となっています。

### 子育て広場事業

そんな岡山高齢協の特徴として、まず上がるのは、「子育て支援」の事業に取り組んでいることです。

現在、倉敷市から委託を受けて「ビヨビヨひろば」と「ビヨビヨひろば」の2つの

子育て広場を運営しています。火曜・土曜日の10時~15時の開所でおおむね0歳~2歳の子どもとお母さんが利用されています。

広場は子育て世帯の孤立化を防ぐ目的で設置されていて、子育てに関する悩みや困りごとの相談、育児中の仲間づくり、子育てに関するイベントやレクリエーションなどを行っています。利用者のほとんどが

育児中のママさんたちで、「上の子どもが広場でお世話になって楽しかったから」ということで、第2子以降も広場を利用される方も多いです。広場では、子どもの一時的預かりも行っており、こちらは1時間300円という低料金でご利用いただけます。(広場自体の利用は無料です)

広場の一つ「ビヨビヨひろば」は、岡山高齢協のデイサービス「ささえ愛」と隣接してお

り、デイの利用者と子どもたちとの交流が定期的に行われています。また、両広場とも、地域の高齢者ボランティア・社協・愛育委員などと協働しながら、様々なイベントを実施し、その取り組みは倉敷市からも高く評価されています。



### 子育て支援に取り組むきっかけは、平成17年度の倉敷市市民企画提案事業へ企画を提案したことでした。「次の世代を育む子育て支援は、高齢者の大切な役割である」という思いから、地域の高齢者を対象に、子育てサポーター講

座を実施し、その修了生により実際に子供の一時預かりなどのサービスを提供するというもので、今にして思えば、目新しさのない提案でしたが、どうにか採択されました。

この時、48万5千円の助成額から始まった子育て支援事業は、今日、3,700万円を超える事業へと成長しています。

### 福祉有償運送

岡山高齢協では、移動支援の取り組みにも力を入れており、高齢者や障がい者の方の移動を、タクシー料金の半額程度でお手伝いする「福祉有償運送」をすべての地域センターで実施しています。ちなみに岡山県内で、複数の拠点で福祉有償運送を実施しているのは岡山高齢協だけとなっています。

移動の支援は、「地域の困りごと」に関するアンケートで、必ず上位に入っている課題です。一方で、採算性や、法的な規制、事故への不安などから、支え手がなかなか見つからないという問題も抱えています。「認知症の奥さんを病院に

送迎するために、やはり軽度認知症のご主人が車を運転する」という事例も見受けられ、移動の支援は高齢化が進むにつれ、ニーズが増えてきています。

また、一般的に、介護サービスを利用される方は、移動に困っている方が多く、この福祉有償運送を提供できることは、他の事業所との差別化につながっています。

ただ、福祉有償運送は、サービスの提供者側と利用者側それぞれに、条件が課せられていて、どなたでも使えるものではありません。

利用者に関して言えば、一人で移動することが困難な方で、かつ、介護認定を受けているか、障がい者手帳等をお持ちの方に限られています。このため、そうした方以外も利用できる、ボランティア移送が提供できないかを、現在検討中です。組合員の方で、介護保険の認定は受けていないけれど、移動の手段には困っている方は少なくありません。こうした方にも手を差し伸べることは、岡山高齢協の地域活動の見える化につ

ながり、組合員の加入にもつながっていくものと期待しているところですが。

## 高齢者主張大会

最後に、岡山高齢協の設立以来の取り組みである、「高齢者主張大会」をご紹介します。

高齢者主張大会は、昨年こそコロナで中止となりましたが、今年で22回目を迎える催しです。県内高齢者から、ボランティア活動・健康づくり・趣味活動・戦争体験・社会への提言などについての原稿をお寄せいただき、その中から優秀作品を6編程度選び、主張大会当日に、作者自らの口で「主張」していただくというものです。ちなみに最優秀賞には1万円、優秀賞には5千円の賞金を出しています。

大会には例年、50〜60編程度の原稿が寄せられており、原稿審査と並行して、応募原稿全てを載せた文集を作成し、応募者の方に配布しています。原稿の多くは手書きであり、それをスタッフが一編一編パソコンに入力

し、打ちあがった原稿をいったん作者に送って校正してもらい、修正の後、印刷会社で製本してもらうという、非常に手間とコストがかかることをしています。この文集化は投稿者の方の楽しみと化はなっていて、一度投稿されると、二度、三度と投稿を続けられる方が全体の7割近くを占めています。すでにお亡くなりになりましたが、第1回から第20回まで連続して投稿された方もいらっしゃいます。また、この主張大会への投稿を楽しみにしていた方がお亡くなりになった際、「棺に書きかけの原稿を入れました」とご遺族から連絡をいただくこともあります。



主張大会当日は、午前中に高齢者の主張大会を、午後からは高齢協の各種生きがい活動の発表を行い、いわば岡山高齢協の文化祭のようになっています。この会へ参加されることを楽しみにされています。

しかしながら、この主張大会は手間とコストがものすごくかかる一方で、組合員からの投稿数は少なく、大会も新規の組合獲得にほとんど

つながっていないのが実情です。このため「何のためにこの大会をするのか」の議論は長く続いています。これについては、「高齢者が生き生きと暮らしている姿を地域に紹介すること」「自体が、活力ある高齢社会実現につながることであり、「元気な高齢者をもっと元気に！」というスローガンの具象化として、大会を続けていくことには意味がある

と考えています。

岡山高齢協は組織基盤が弱く、協同組合としては、至らない点が多いですが、自分たちが大切に組み立てられていることを生かして、今後も地域に寄り添っていきたくと考えています。同じ連合会に参加するものとして、埼玉高齢協の活動なども教えていただき、共に歩んでいきたいと思っています。

## ドキュメンタリー映画 「ひとと原発 ～失われたふるさと」

悔しい.....。

原発事故によって生活基盤を根こそぎ奪われた浪江町民の多くの方が口にする言葉です。

避難指示が解除されてから4年が経ちますが、帰還率はわずか約5パーセント。震災関連死は自殺者をふくめて約450人。実に震災前の住民の50人に1人。この数字が示すように、自然災害とは質の違う苦難を浪江町民の方々は抱えつづけています。国やマスコミが唱える「復興は着実に進んでいる」という言葉の陰に、そうした実態は消し去られようとしています。

悔しい.....。

この言葉の重さと深さをしっかりと受け止め、二度とこのような過ちを繰り返さないためにも、原発による電気を享受してきた我々は、決して風化させることなく、次の世代にしっかりと語り継ぐ責任があります。その一助となるように、微力ですが映画「ひとと原発～失われたふるさと」を制作しました。監督：板倉真琴

浪江町の14名の方々にインタビューを重ね、映像としてまとめられた映画です。映画鑑賞会を企画し、組合員の方々にも見て頂ける機会を作ろうと思っています。



# 「ポールdeウォークのすすめ」 自分の姿勢が真っすぐに なつてピツクリ!

東京都ポールdeウォーク推進協議会  
常務理事・事務局長 木谷道宣さん

「なんだ、一本の杖じゃたりえてきます。歩きながらのおなくて二本つくようになったしゃべりと、終わった後のおのか!」と冷やかされ、せっかちや会もまた楽しいのです。勧めても「俺は(私は)まだ今、そんな輪が首都圏各地に杖なんかなくても歩ける広がつています。」

「楽しみながら歩けば風で、今ようやく、二本のポールの色がみえてくる」の名言句を持って歩く「ポールdeウォーク」のようにウォーキングは、オーク」が街角のスポーツと「いつでも誰でもどこでもできて認定されてきました。」

二本のポールを持った途端に背筋がまっすぐになり、周りに景色や風景がはつきりとした。そこに出てきたのが二見えるようになり、自然に歩きたくなり、みんなに話しかけたくなる。そんな共感の輪がだんだん広がってきました。

そして、一人ではちょっと恥ずかしいので日にちと時間を決めて仲間と一緒に歩き出すと、「それどんな具合なの」「ちょっと私もやってみようかしら」と仲間がだんだん増

そしてなんと、ポールを使うおかげで自然に「前を歩く人」と、後ろを歩く人と距離を取る」ことから、ソーシャルディスタンスを要請される。コロナ時代に最適なスポーツであるということ、自粛自粛でもすれば内向きな、引きこもりになりやすい時代の格好の屋外スポーツとして脚光を浴びてきました。御承知のように、今、平均寿命世界一を達成したわが国の最大の課題は「健康寿命の延伸」です。特に高齢者がいつまでも元気に、「棺桶まで自分で歩いて行って自分で自分の人生を全う」しなければならぬ、時代の最良の運動として、楽しくみんなで「わがまを」一緒に歩く時代がやってきました。

二本のポールを持って歩くノルディックウォーキングは、北欧のノルディックスキの選手たちの、雪のない夏場のトレーニングとして始まりました。そして今から24年前にフィンランドで、正式に「健康スポーツ」として認定・提唱され、日本には2年後の1999年に北海道に入ってきて全国に広がりました。ノルディックウォーキングはノルディックスキーのようにポールを後ろにけり出すように歩くのに対し、2006年に長野県の整形外科の先生とスポーツ指導者が日本古来の杖をヒントに、「ポールを交互に前につく」スタイルのポールウォーキングが日本で創始されました。基本的にはどちらの歩き方も同じ効用があることから、私たちはこれを「ポールdeウォーク」と総称し、この最大の受益者である高齢者が各まちでそれぞれがリーダーになってこの輪を広げたいと念願しました。

今、ノルディックウォーキング・ポールウォーキングをこれまで全国で広めてきた4つの専門団体の指導者に、全国各地で活躍していただくためのコーディネーターの役割をワーカーズコープが担おうと、体験会とリーダー養成研修会を各地で展開し始めています。ぜひ、さいたま高齢協の皆様にはその先駆けを担ってくださいますようお願いいたします。

## ポールdeウォーク推進コーディネーター 養成研修

### 受講生募集

元気に歩きたい方、人が、自然が好きなお方も参加しませんか?

指導: 芝田電文コーチ

全日本ノルディックウォーク  
運営指導部技術院

日時・会場

日程: 2021年9月~2021年12月  
毎月第2&第4金曜日 10:00~11:30  
2021年9月10日・24日 10月8日・22日  
2021年11月12日・26日 12月10日・24日

募集人数  
12名

資格: 5回以上の出席者に東京都ポールdeウォーク推進リーダー研修協議会のリーダー研修修了書を授与します。

受講料  
7,000円  
(テキスト代別途)

申し込み・お問い合わせ

日本社会連帯機構社会連帯埼玉地方委員会  
〒336-0018 さいたま市南区岡本町  
2-5-15M-Mオフィス201号

TEL: 048-844-0085 FAX: 048-844-0086

FAXにて住所・氏名・年齢・電話番号・受講動機をお書きの上、お申込み下さい。

会場: ワーカーズコープセンター事業部  
埼玉地方委員会(第2 棟裏)

交通: 京浜東北線 浦和駅  
西口下車 徒歩4分



寄り道!

住所	〒		
氏名	電話番号		
生年月日	年齢・性別	歳 / 男・女	
志望動機			

# 第十六回通常総代会の報告

## 高齢協運動の原点を踏まえ、 新たな10年をめざそう！

5月30日

コロナ禍の総代会となり、

本来であれば多数の組合員、総代の皆さまの出席を願っている処でしたが、「書面議決」を優先して、実施させて頂きました。会場は所沢まちで、近隣の総代の方々、理事・監事の方々にご出席頂きました。また、インターネットを利用して傍聴された役員の方々もいらつしやいました。議案(おひさま初夏号掲載)は全て賛成多数で可決となつています。また、書面議決に合わせて、様々なご意見を頂きました。議案の議決状況、そして質問への回答を掲載し報告とさせて頂きます。

### 【採決の結果】

	賛成	反対	保留	棄権	合計
第1号議案 2020年度勤のまとめ	50	0	3		53
第2号議案 2020年度決算と損金処分	49	0	4		53
第3号議案 2021年度事業計画と予算	50	0	3		53
第4号議案 2021年度役員報酬	48	0	5		53
第5号議案 補充役員の選任	48	0	4	1	53
第6号議案 議案議決効力発生に伴う	49	0	4		53

\*議長は議決に参加しないので、議決合計は53となります。

### 【成立状況】

総代85名の内、過半数の59名(本人出席5名、書面出席54名、委任状出席0名)の出席で成立

### 【意見質問への回答】

①予算に展望が見えない、介護保険以外の事業展開を図ったかどうか。高齢者に入口が狭まっているので名称を

変更してはどうか。

(回答)予算は現実味のある数字を各事業部門が積み上げたもので、今期はこの予算を確実に達成することが必要です。高齢協の存在価値が活動の中心になれば単なる介護事業所に留まり「展望」はないと思つています。議案にある「将来を展望する委員会」などが大事だと考えており、その中で名称も議論させて頂きます。

②仕事の割には時給が安く、10年以上も上がっていない。見直してほしい、ヘルパーの補充に力をいれてほしい(複数)。

(回答)人の問題が大きいことはその通りです。組織全体の課題であり情報や知恵を総代や組合員の皆さんにもお願いしたい。労働条件は、経営に直接つながる問題です。事業部門ごとに数字を示し、労働条件を含めて、経営を自分事として議論できる場を設けたいと思つています。現状を踏まえ、労働条件

をどう向上させてゆくのか、話し合つていきます。

③デイサービスの休止について、原点に戻り、組合員と組織がキャッチボールできる機会が必要ではとの提言や再開に向けてお手伝いしたいのご意見までいただきました。

(回答)デイの再開に関しては、所沢の皆さんと組合員懇談会などを通じて考える機会を作ります。

④改革の意気込みが感じられない、みんなの力で展望を開きましよう。理念、志は素晴らしい。サービスをする方も受ける方も思いやりのあるまあちの存続を願います。ヘルパーさんの心得あるサービスがとても素晴らしい、スタッフの手厚い指導には頭が下がります、信頼できる事業所です、担当している利用者の方にどう向き合うか、一人でも多くの利用者のためを考えていきたい。

(回答)励ましを頂き感謝。経営を立て直し、協同組合らしさを発揮できる組織にしていきたく思います。

○理事4名監事1名の補充役員の選任を行いました。

### 理事・大畑真理

(ふれあい岩槻・管理者)

日頃より、組合員の皆さまには大きなご支援をいただき、心より感謝申し上げます。共に支えあい、豊かな生活を過ごす事ができる社会。その一端を担う事業として介護事業は大変重要なものかと思つています。ふれあい岩槻は総勢13名の小さな訪問介護事業所ですが、利用者、そのご家族が安心して、また少しでも笑顔になれるサービスの提供を目指しております。また、働く仲間も楽しく活躍できる事業所を目標に運営しております。まだまだ発展途上ではございますが、さいたま高齢協の更なる発展と共に大きな飛躍ができるよう尽力する所存でございます。

元気な高齢者が高齢者を支えるという考えは素晴らしいことです。それに加えて、様々な世代と共に共鳴しあい、それぞれの持つ持っている知識や力を共有できれば、大きな成果を上げられるのではないでし

ようか?これには各々の考えを取り入れ、認め合う柔軟性と思いやりが必要なのではと思います。

新しい考え方や方法を良く検討し、議論し、過去の経験を活かして進んでいける。そんな(しなやかさ)をもってとり組んでいけたらと考えております。まだまだ未熟者ではありませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

### 理事・亀井隆(三郷市在住)

私は協同組合(首都圏の大学生協、日本生協連)で仕事をしてきました。60歳定年後は、協同組合とも関係の深い公益財団法人賀川事業団雲柱社(賀川豊彦記念松沢資料館)で65歳まで働きでリタイアしました。

その後は、通勤した東京(埼玉都民)から地元埼玉に重心を移しました。これまでの経験を生かせればとさいたま高齢協の組合員になり、翌年総代になり、そして今年度より理事に就任しました。

介護現場を知らなければと思いい初任者研修を受け、現在週3日ほど近隣の介護事業所に

勤務しています。

超高齢化社会を迎える日本、介護事業はどうあるべきか、さいたま高齢協で共に考えていきたいと思えます。また、昨年成立した労働者協同組合法が近く施行予定になっています。現在のさいたま高齢協は生協法に基づき運営されていますが、労働者協同組合法の適用も検討すべきテーマかと思っています。

### 理事・島野正紀(北本市在住)

皆さんこんにちは。この度、高齢協の理事に就任を致しました。私が、北本の市議を辞めて、ワーカーズの活動を始めて、14年が経ちました。市議に在職中から、協同組合に関心があり、在職中に、北本リサイクル協同組合、桶川・北本水道事業協同組合、北本市建設事業協同組合などを設立し、市内事業者の事業の繁栄に貢献してきました。うまくいかず解散した組合もありますが、順調に事業が進んでいる組合もあります。ワーカーズに入っ

て、協同組合の理念を知り、

信頼関係の大切さを学びました。自分も77歳喜寿になり、いつまで活動ができるかわかりませんが、元氣な高齢者が、学び、稼げる事業体を立ち上げるために微力を尽くします。よろしくご指導をお願いいたします。

### 監事・茂木紀晃(蕨市在住)

茂木紀晃(もぎのりあき)と申します。私はワーカーズコープで総務経理を13年しております。私は埼玉県の太田で生まれ小学生まではそこで過ごし、その後、栃木へ引っ越しをした後、就職で再び埼玉に戻り(その時も太田でしたが、さいたま市に変わっていました)、その後、蕨市へ引っ越し現在に至ります。

だいたい30年くらいは埼玉で過ごしております。私の住んでいるマンションも高齢で一人暮らしをされている方をお見掛けします。個人的な見解ですが今後は一人暮らしのシニアと

## 地域サロン 所沢地域福祉事業所 まあち

お茶を呑みながら、おしゃべりをして一時を過ごしませんか!

老老世帯・単身世帯・日中は一人という暮らしが増えています。近所のつながりも希薄になっています。住み慣れた町で長く元気で暮らす為に、楽しく過ごせる集いの場をを立ち上げました。主に向陽町地域の方々にお声がけをしています。

(増田アツミ 坂井みよ)

●第2、第4木曜日13:30~15:30

●まあち「会議室」

●参加費は100円(お茶代)

\*行事は別途で実費が必要です。

連絡先 まあち

04-2941-2111

### さいたま高齢協の事業所 働く仲間募集中

まあち 〒359-1103 所沢市向陽町 2001-3

訪問介護 04-2941-2755

ケアプラン 04-2941-2080

ふれあい岩槻 〒339-0057

さいたま市岩槻区本町 1-5-33

訪問介護 048-749-5773

## カレイドスコーププロジェクト

## 理事 須賀貴子

はじめまして。ワーカーズ  
コープセンター事業団・埼玉  
事業本部に所属する須賀貴子  
と申します。

2012年所沢市中富で働  
く上で困難のある仲間と一緒  
に「埼玉西部地域福祉事業所  
森のとうふ工房」(とうふ工  
房)を立ち上げました。仲間の  
中には生活保護を受けている  
方や、学校を出てから一度も  
働いたことのない方、長く引  
きこもっていた方等がいまし  
た。「どうしたら仲間が働きや  
すい職場になるのか」という  
ことを中心にすえて事業所運  
営をしてきました。そして、2  
015年、西所沢に就労継続  
支援B型「森のとうふ屋さんの  
手づくり菓子工房」(以下、菓  
子工房)を立ち上げました。

「障がいの有無に関係なく一  
人ひとりの“はたらきたい”  
思いをカタチにしよう」「自慢  
できる職場にしよう」をスロ  
ーガンに障がいのある仲間と  
一緒に菓子製造・農業・高齢者  
施設の除菌等に取り組んでい  
ます。組合員8名から始まっ  
た事業所は、現在就労継続支  
援B型で働く仲間含めて約5  
0名の事業所となりました。  
とうふ工房の立ち上げ当初  
から「地産地消のとうふをつ  
くりたい」と夢がありました。  
菓子工房を立ち上げたときに  
は「障がいのある仲間と一緒  
に育てて、地産地消のとうふ  
をつくる」と決め、近隣で畑  
を貸していただけたところを  
探しました。「農業をやりたい  
んだ」ととにかく出会った人  
に伝えると、その思いは伝わ  
り、初めは生産緑地の管理か  
ら始まり、狭山茶農家さんと  
つながったり、畑を快く貸し  
ていただけた方と出会ったり  
と少しずつ耕作地を広げてい  
きました。

と、そしてそれを通じて「働く  
こと」が循環する仕組みを作  
りたい。その柱に「農福連携」  
をすえたい」と考え、「所沢農  
福連携地域協議会(通称「カレ  
イドスコーププロジェクト」)  
を生活クラブ生協や市内外の  
福祉作業所、飲食店、農家、市  
議会議員、大学教授、市民等と  
一緒に立ち上げました。カレ  
イドスコープは「万華鏡」。「障  
がいの有無や年齢に関係な  
く、様々な人とつながること  
で、一人ひとりの輝きは増し、  
誰もが輝ける地域づくりを目  
指そう」という思いが込めら  
れています。

カレイドスコーププロジェ  
クトは「わかりにくい」と初め  
て参加される方からよくご指  
摘をいただきます。それもそ  
のはず。ここでは「農福連携を  
軸とした地域づくり」を目指  
すところであって、参加者一  
人ひとりがこのプロジェクト  
の中身をつくっていく主体だ  
からです。カレイドスコープ  
プロジェクトが目指すもの  
は、農福連携を軸とした「ネッ  
トワークづくり」「コミュニテ  
ィビジネスのモデルづくり」  
「農福商連携の実現」「農地  
保全」「持続可能な社会づく  
り(SDGsの実現)」と多岐に  
わたっています。そのため、  
参加された方たちが互いに  
やりたいことや悩み、課題を  
出し合うことを大切にして  
います。一事業者(個人)で  
は解決が難しいことも、カレ  
イドスコーププロジェクト  
を通じて共有され、コラボレ  
ーションが生まれたり、想像  
していなかったものが生み  
出されることを目指してい  
ます。この間、生活クラブ生  
協でも取り組んだ鶴首カボ  
チャペースト、濃縮トマト、  
地粉のパンを目指した麦の  
栽培、落ち葉掃き、援農等を  
行いました。

この取り組みを、障がい福  
祉だけでなく、子どもや高齢  
者等様々な分野に広げたい  
と思っています。  
子どもたちに所沢の農あ  
る風景を残していきたいし、  
孤立せずいくつになっても  
自分らしい暮らしができる  
地域にしていきたいと考え  
ています。  
カレイドスコーププロジ  
ェクトでは、誰もが集える場  
所、農家レストラン、養蜂、  
野菜加工等様々な夢が語ら  
れています。集まった人が気  
兼ねなく夢を語り合い、つな  
がり合い、それをみんなでカ  
タチにしていきたいと思っ  
ています。  
私自身、これまで高齢分野  
での仕事は未経験ですが、高  
齢協に加わり、沢山のことを  
学びたいと思います。組合員  
の皆さんにもカレイドスコ  
ープの活動に加わって頂け  
ることを願っています。



生産・加工・消費に取り組んだ  
「鶴首かぼちゃペースト」

先 電話 080  
住所 所沢市 (6636)2156  
連絡先 上新井1-4-4  
担当 須賀貴子

映画上映サークルをつくりませんか?  
わたしのおすすめ映画

## 2020年「ファザー」

第93回アカデミー賞・脚色賞・主演男優賞  
平山清一さん(上尾・理事)

認知症になった父親を演じるアンソニー・ホプキンス、彼を介護する娘アンを演じるオリヴィア・コールマンとの姿を描く濃厚な人間ドラマ。認知症になった父親が自分自身や家族のことも分からなくなり、記憶や時間が混乱していく姿をとつとつと描いている。

認知症に罹った老人を抱える家族をテーマにした映画はこれまで数多くあるが、この「ファザー」は観る私たちに新たな体験と恐怖と驚きを与えてくれる。

これまでの認知症の題材の作品は痴呆性老人の言動や介護者の苦勞を客観的に描いていて、対象老人の奇抜な言動に驚き、そして介護者の心情を共感的に理解し、同居する家族に同情して介護の現実の厳しさを

共有する映画がほとんどだったと思う。しかし、この映画は認知症になること自体を体感できてしまう。こんな感覚に陥る映画はかつてなかったような記憶がする。この映画は人間ドラマのほずなのにホラー映画? ミステリー映画? 観ている方も混乱して訳がわからなくなる。そう、この映画の凄

いところは観ている私たちが認知症になったアンソニーの気持ちと同化して彼の視点で物語が進行するところだと思

ではあるが、この「ファザー」を観ていると今まで以上に認知症の現実を体感して、かなりのショックを受けてしまう。しかしそれが認知症の現実であり、この感覚を味わ

えただけでも貴重な体験。認知症にはなりたくないという恐れと共にこの病気で苦しんでいる人への理解度が増したことは観た甲斐があったと思える。

父親が施設に入所して幼児退行してしまうシーンでのア

### 組合員募集

私たちの仲間になりませんか!

私たちは「仕事」「福祉」「生きがい」活動に取り組み高齢社会を支え合うために生まれた生活協同組合です。

年齢に関係なく、気軽にどなたでも協同組合に入れます。老若男女が支え合う「福祉のまちづくり」にあなともご一緒に!

【加入にあたって】  
①所定の加入申込書  
②出資金(一口千円から)が必要です。  
お申込み・お問い合わせ  
04(2941)2111  
年会費・月会費は不要です。



【編集後記】ポールのエウオークのコーディネートがあるので応募した。高齢協の活動に相応しいと思って、人には話していたのですが、まずは自分で経験し、お伝えたいと思います。▼岡山高齢協の活動を寄稿して頂きました。全国の高齢協の活動を知って頂くことが、「高齢協とは」を考

る際の一助になるだろうと思っ

ています。▼所沢ま

あちを利用して頂いた方

から遺贈がありました。ま

あちが取組んだケアに対

する贈り物に感謝したい

と思います。高齢協の存在

意義を忘れず、地域福祉の

充実のために、使わせて頂

きたいと考えています。